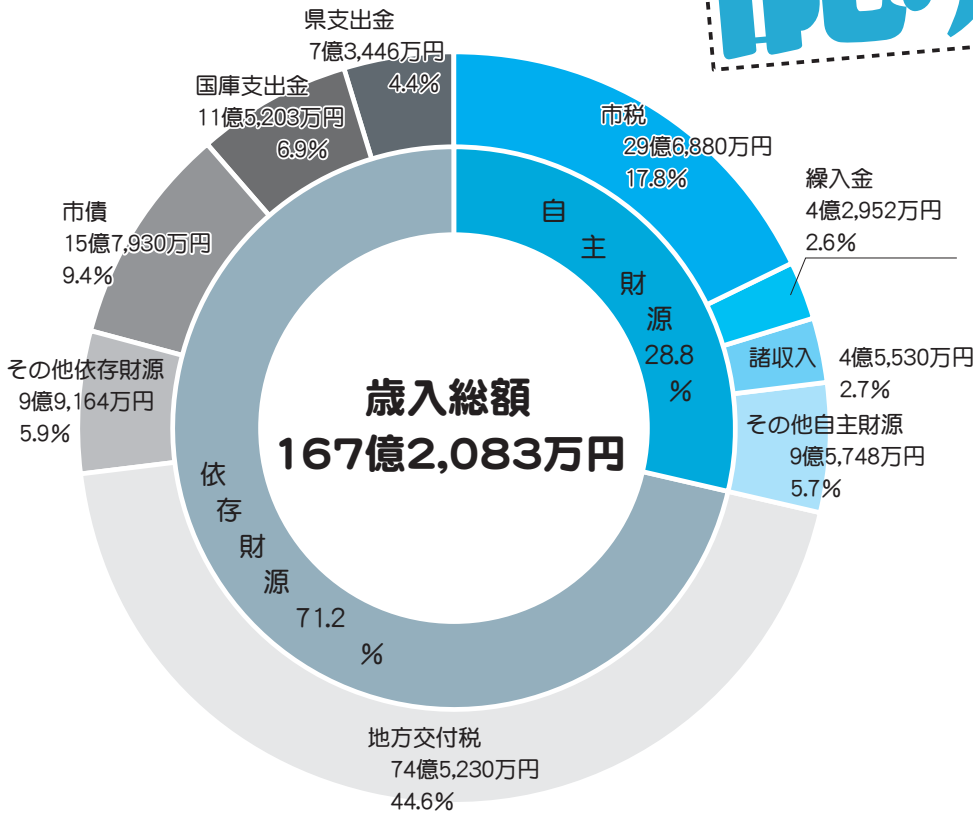


平成18年度決算報告（一般会計）

認定

市の18年度の決算が、市議会9月定例会（9月11日から27日まで）で認定されました。今回の決算は、市が誕生後、はじめて編成した通年予算でまちづくりを行った結果を示したものです。ここでは、一般会計を中心に決算内容を紹介します。（金額は1万円未満を四捨五入しています）

【歳入】  
＜円グラフ1＞



上に掲げた円グラフ1は、平成18年度一般会計歳入を表したものです。総額は、167億2083万円でした。歳入の中で最も金額が多かったのは地方交付税で、74億5230万円、歳入全体の44・6割を占めています。次に金額が多かったのは、皆さんから納めていただいた市税の29億6880万円で、17・8割。市民1人当たり約9

万5千円となっています。また、市が事業を行うために国などから借り入れた市債は、全体の3番目に多い15億7930万円で9・4割。次いで、国からの補助金など国庫支出金が、11億5203万円で6・9割となりました。財政状況が安定していることを表す歳入全体に占める自主財源の割合は、28・8割となっています。

歳入  
総額は167億2083万円  
最大は地方交付税の44・6%



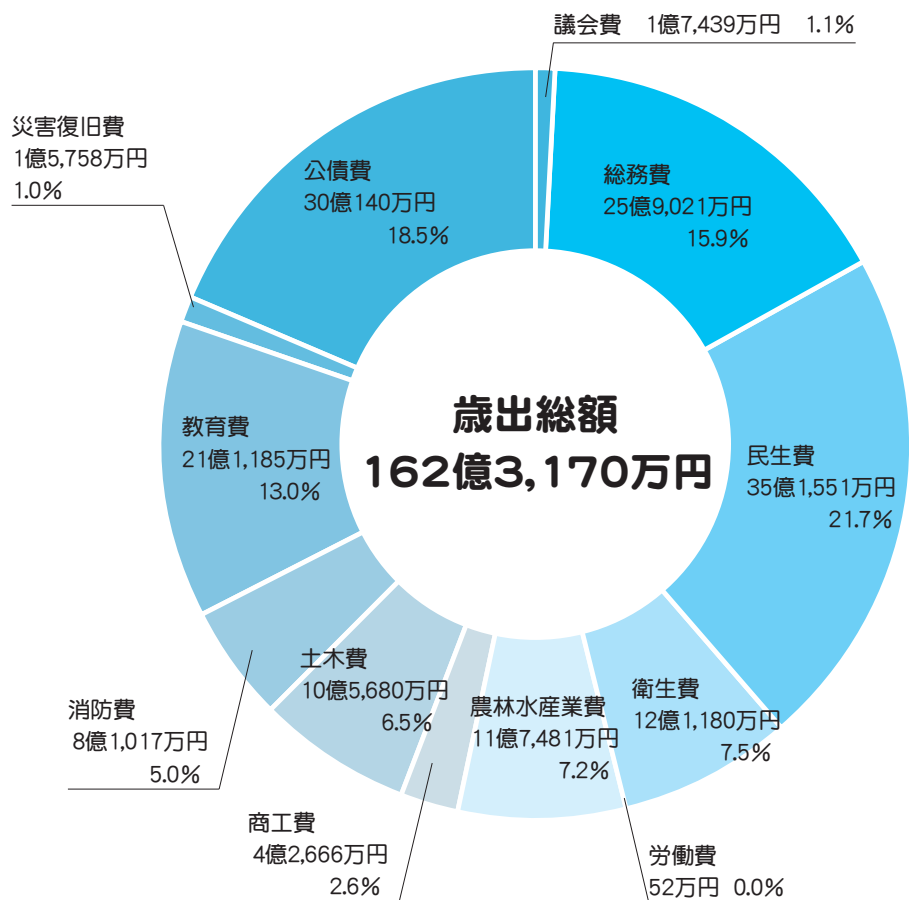
9月12日、市小学校陸上競技会にて

## 財政用語の基礎知識

- 一般会計 市の予算の大部分を占め、通常の公共サービスに使われる会計
- 特別会計 国民健康保険や下水道など特定の目的に使われる会計
- 自主財源 市税など市が独自に集めているお金
- 市税 市民税、固定資産税、軽自動車税など
- 地方交付税 国税のうち、市の財政力に応じて国から交付されるお金
- 国庫支出金、県支出金 市が行う特定事業に対する国や県からの補助金など
- 繰入金 一般会計、特別会計、基金の間で相互に資金運用するお金など
- 市債 事業を行うときに、国などから借りるお金
- 総務費 一般事務や選挙、市有財産の管理などに使われるお金
- 民生費 幼児からお年寄りまで市民の福祉向上に使われるお金
- 衛生費 健康診断やごみ処理に使われるお金
- 公債費 市債の返済に使われるお金

# 【歳出】

<円グラフ2>



## ●18年度特別会計・企業会計の決算状況

会計名	収入額	支出額
国民健康保険(事業勘定)	33億7,871万円	32億9,534万円
老人保健	32億8,823万円	31億5,707万円
公共下水道事業	9億762万円	8億5,259万円
農業集落排水事業	11億1,225万円	10億8,753万円
浄化槽事業	8,644万円	8,038万円
国民健康保険(診療施設勘定)	3億295万円	2億9,018万円
索道事業	1,863万円	1,608万円
公共用地先行取得事業	412万円	412万円
西根病院事業	収益的収支	6億5,393万円
	資本的収支	1,513万円
水道事業	収益的収支	5億3,252万円
	資本的収支	1億4,497万円

**歳出**  
総額は162億3170万円  
躍進する八幡平市を目指して

円グラフ2は、平成18年度一般会計歳出を表したものです。総額は、162億3170万円でした。歳出のうち最も支出額が多かったのは、市民福祉の向上に使われた民生費で、35億1551万円、全体の21.7%を占めています。2番目に支出額が多いのが公債費で、30億140万円、歳出全体に占める割合は18.5%です。

円となりました。公債費は、市が事業を行うために借りた市債を返済するものです。次いで多いのが総務費の25億9022万円です。18年度、教育費の21億1185万円、13.0%となりました。市は、経費の節減や事務事業を見直す行政改革を実施しています。今後とも躍進する「農と輝の大地」づくりに向けた取り組みを行います。